

北ア・乗鞍岳

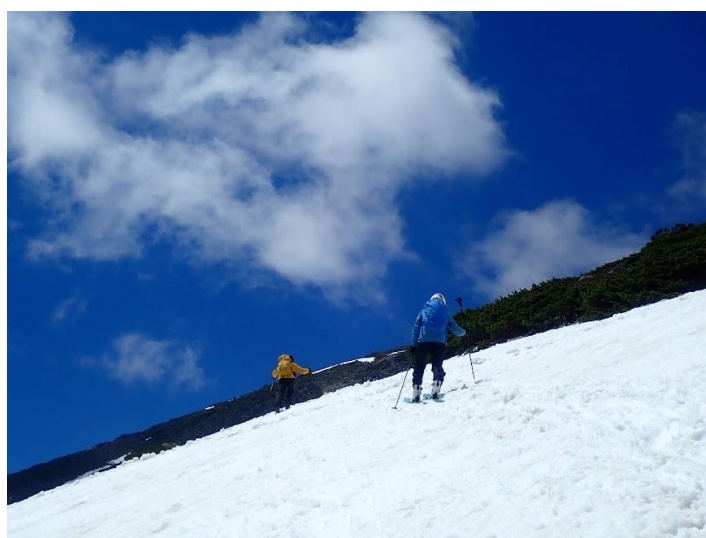
T野

2023年6月4日

メンバー： T野・A原・A岡



雪不足の割には、重箱の隅を突っつきまくって楽しんできた今シーズンの山スキーも、さすがに板を納めるときがやってきた。当初は1泊で月山の東面を滑るつもりだったが、台風2号に伴う前線が活発化して、金曜日の夜は土砂降りとなり、出発以前に集合が危ぶまれる天気となった。さらに、いつの間にか北海道付近にできた低気圧の影響で、月山の天気は土日とも不安定で芳しいものではなくなった。そうなると、金曜出発はあり



えない。土曜出発で天気の良い日曜の日帰りで行けて、山スキーができる場所といえば、もう乗鞍岳以外には選択肢はなかった。ほんの2週間前に訪れたばかりだったが、間違いなく雪もありそうなので再訪することにした。ただ、かなり大雨が降ったからきっと縦溝バシバシかも・・・？ このことはある程度は覚悟しての出発となった。

■写真上 これから登る乗鞍大雪溪！！

■写真中 黙々と登る。

■写真下 今日はここまで、山頂は目と鼻の先！！



6/3の17:00に新宿を出発。時間に余裕があるので、宴会が楽しめそうな場所を探しながら行くが、なかなか良いところがなく、結局、島々の少し先にある「アルプスの郷」という道の駅のような場所に落ち着く。ここはトイレもあり、目立たない場所にこっそりテントを張れば、静かで快適に過ごすことができ、味チャンが差し入れてくれた鳥海山麓で創られた純米酒に舌鼓を打ちながら夜は更けていった。味チ



チャン、有難う！！美味しかったです！！

6/4、三本滝を8:45発のバスに乗るため、時間に余裕をもって出発。乗鞍高原は今、新緑の季節。木々が萌黄色に輝き、明るい日差しが葉っぱ全体に降り注いでいて美しい！！そう、いつの間にか季節はもう初夏を迎えているのであった。

三本滝に到着すると、5/17と比べて人出は少なく、山スキーヤーよりも競技スキー系の人が目立つ。この時期のバスは標高約2600mの大雪山まで行くことができる。アプローチゼロで良いバーンがあるので競技系の人が増えるのであろう。山に登る人は、山スキーと歩きの割合も半々くらいで、上部には、もう今日にでも雪が切れそうな場所もある。山スキーを楽しむには、まさにラストチャンスという感じであった。

■写真上 権現池はもうすぐドラゴンアイ！！

■写真中 ドラゴンアイバックに。

■写真下 乗鞍ゼブラ！！ここが滑降ルート！！

上部は風が強そうなので最初からクトーを付けて登る。2週間前と比べ、だいぶ雪が解けて地肌の割合が多くなっている。休まずのんびり登り、いまにも雪が切れそうな場所も強引にシールで登って行くと乗鞍岳山頂直下で雪が切れる。ここから山頂までは、ほんの一息だが、2週間前にも行っているし、その時いなかった味チャンも、山頂は何



回も踏んでいるので
拘っていないという
ことなので、今日は
ここまでとする。権
現池もかなり雪が解
けてドラゴンアイっ
ぽくなってきた。

さあ、いよいよ今
シーズン最後の滑降
だ！！いざ！！

雪はまあまあのザ
ラメでこの時期にし
ては快適、心配して



いた縦溝は思ったほ
どではなくこれも嬉
しい誤算だ。標高差
約400mをザラメの
感触を味わいながら
大事に滑る。写真を
撮り合いながらの滑
降だったが、それで
もわずか8分の快樂
でした。

■写真上 ザラメを
飛ばす！！

■写真中 大雪渓連
続パノラマ写真！！

■写真下 滑降ルー
トを振り返る。

帰路は、前回同様、「湯煙り館」で汗を流して、蔵人の味噌ラーメンに舌鼓を打つ。中央道はあり得ない渋滞なので、それを避けるため、高速を降りたり乗ったりして味チャンが必死のルーファイ、おかげでかなり時間を短縮して帰宅することができました。



今シーズン、山スキーでお付き合いいただいたメンバーの方、有難うございました！！おかげさまで、無事、板を納めることができました。その中でも、特にA原さん、今シーズンの僕の山スキー日数27日中、なんと25日も一緒させていただきました！！来シーズンもまた宜しくお願いいたします！！

■コースタイム

大雪渓バス停（9:50）～（10:55）2975m付近（11:30～）～（11:38）2600m滑降終了点～（11:50）大雪渓バス停